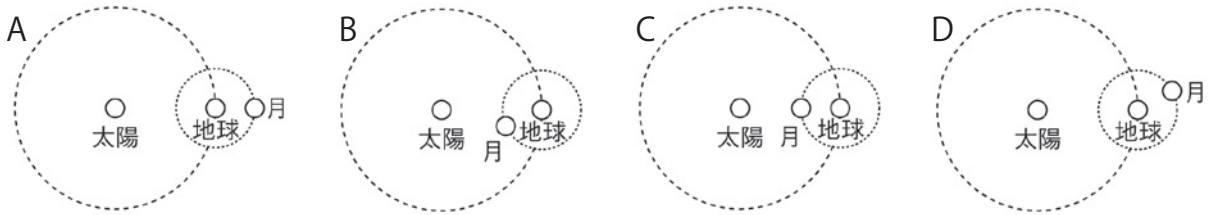


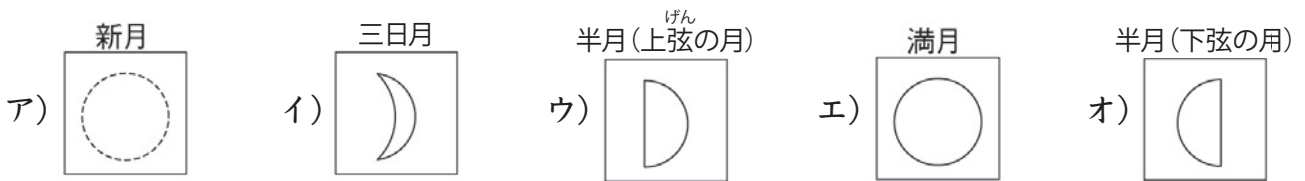
月や惑星の運動と見え方(3)

名前

下の図は、地球、月、太陽の色々な位置関係を模式的に表したものである。以下の問いに答えなさい。



- 日食が起きるときと、月食が起きるときは、それぞれA~Dのうちのどれか。
- 日食が起きるときと、月食が起きるときは、月の形として正しいものを下のア~オからそれぞれ選んで記号を書きなさい。



- 月食が起きるのは、月が何の影に入るからか。
- 月がすべて(3)の影に入る月食を何というか。
- 月の一部が(3)の影に入る月食を何というか。
- 皆既日食、部分日食、金環日食の図として正しいものを右のカ~クからそれぞれ選んで記号を書きなさい。



(1)	日食	C	月食	A	(2)	日食	ア	月食	エ	(3)	地球	
(4)	皆既月食		(5)	部分月食		(6)	皆既日食	ク	部分日食	キ	金環日食	カ

次の文章は、金星と火星の運動と見え方についての説明である。()に当てはまる言葉を○でかこみなさい。

- 夕方、(1)西・東の空に見える金星を(2)宵の明星・明けの明星といい、明け方、(3)西・東の空に見える金星を(4)宵の明星・明けの明星という。
- 望遠鏡を使って地球から金星を観測すると、月と同じように満ち欠けして見える。しかし月と違って、金星は見える大きさがしだいに変化する。金星が地球に近づくほど、見える大きさは(5)大きく・小さくなり、形が(6)三日月のように細く、満月のように丸くなる。
- 金星は地球の(7)外側・内側を公転していて、常に太陽に近い方向にあるため、夕方や明け方にしか見ることができない。
- 火星は地球の(8)外側・内側を公転しているため、火星の位置が太陽と(9)同じ方向・反対の方向にあるときは、真夜中でも見ることができる。
- 望遠鏡を使って地球から火星を観測すると、見える(10)大きさ・形は変化するが、見える(11)大きさ・形は、ほとんど変化しない。